

2013年度の 復興は 人づくり

3.11からの 支援のかたち

仙台の復興支援活動2012

発刊イベント

ゲストトーク：『ワガコト化』から始まる復興の人づくり
本間勇輝さん（NPO法人HUG／東北復興新聞）
北村孝之さん（NPO法人ボランティアインフォ）
佐藤正実さん（NPO法人20世紀アーカイブ仙台）

3月29日（金）18時～20時
仙台市市民活動サポートセンター
参加費300円（飲み物代） 定員30名（申込制）

主催：仙台市 企画運営：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター

仙

台 台市民活動サポートセンターで発行する冊子「3.11の支援のかたち」。2012年度に仙台市で行われた復興支援活動の経過を記録し、被災地の現状を広く発信すると共に、これからの協働のまちづくりを考える材料にするものです。

一

冊子の発行に合わせ、復興を未来のまちづくりとして全国に情報発信している方と、被災地内で関心をつなぐ取り組みをしている方をお招きし、継続的に地域で活動できる復興人材の増加を目指す取り組みについて考えます。

参

加者や掲載団体など復興に向け、多様な背景を持つ方同士のコラボレーションのきっかけとしてネットワーキングタイムを設け、2013年度スタートアップの機会にします。

タイムスケジュール

- 18:00 オープニング
- 18:10 ゲストトーク
- 19:00 ネットワーキング
- 20:00 終了予定

本間 勇輝さん

世

の中を良くするために頑張っている人や団体を情報発信等のコミュニケーション分野で手助けするNPO法人HUG。

震

災後、復興のために頑張る人々を対象とした業界新聞「東北復興新聞」を発刊し、関係者間の情報共有を促進すると共に、被災地外へ情報を届け継続したより良い支援の実現を目指しています。

北村 孝之さん

ボ

ランティア募集团体と希望者をつなげる活動を行っているボランティアインフォ。

団

体と希望者をつなげることで被災地の復興に協力すると共に、ボランティアや社会貢献活動がより一層身近になる社会を作っていきます。現在apbankと東北ボランティアプログラムを実施しています。

佐藤 正実さん

仙

台の懐かしい映像や写真を収集・保存し、上映・展示会を行う20世紀アーカイブ仙台。

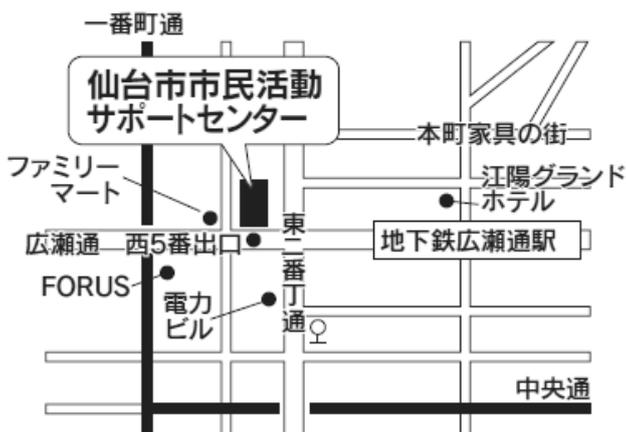
震

災後は昭和を語る会開催や市民が撮った震災記録「3.11キヲクのキロク」をまとめています。長期的な視点で物事を見つめ、「記憶と記録を残す意味」を深く追求しています。

会場で「冊子：支援のかたち」お渡しします

お申込み方法

ご参加希望の方は、下記までお電話でお申込みください



- 当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車でお来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。
- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。[最寄のバス停] 電力ビル前、商工会議所前 [地下鉄] 広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

つながる
つなげる
サポセン

仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
Tel:022-212-3010
FAX:022-268-4042
http://www.sapo-sen.jp
担当:藤原、葛西、菊地